



2018年4月20日
六本木アートナイト実行委員会

「街はアートを見る」をテーマに、六本木の街を彩る一夜限りのアートの饗宴 六本木アートナイト 2018

眠らない街・六本木で、夜通しでアートを愛でる初夏！
多彩なアート作品やパフォーマンスが六本木の街を盛り上げます！
プログラム内容が決定！

2018年5月26日(土)10:00～5月27日(日)18:00
コアタイム：26日(土) 18:00～ 27日(日) 6:00



六本木アートナイト実行委員会は、2009年の開始から今回で9回目※を迎える六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴「六本木アートナイト 2018」を2018年5月26日(土)～5月27日(日)の2日間開催いたします。「六本木アートナイト」は、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に、東京を代表するアートの祭典として浸透してきました。

今回のテーマ「街はアートの夢を見る」に沿って、日本の現代アート界を牽引する金氏 徹平、鬼頭 健吾、宇治野 宗輝の3人をはじめ、多くのアーティストが六本木の街を舞台に、街中にアートスポットを点在させます。現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどの多様な作品に加え、体験・参加型のプログラムも多数実施します。「六本木アートナイト 2018」当日は、各美術館やギャラリー、施設で開催されている展覧会の特別プログラムや、開館延長など連動企画も満載です。眠らない街・六本木で、夜通しでアートを愛でる初夏、ぜひお楽しみください。

※2011年は東日本大震災により中止

六本木アートナイト 2018
メインビジュアル

六本木アートナイト 2018 開催に向けたコメント

六本木アートナイト実行委員長 南條 史生（森美術館 館長）

六本木アートナイトは今年で9回目の開催となります。そして六本木の街で行う一夜限りのアートイベントとして、多くの人たちに楽しくユニークな体験を与えてきました。今年のテーマに掲げた「街はアートの夢を見る」は、不夜城のように輝く六本木のネオンやヘッドライトの光の中で、街のあちこちに登場するアートのインスタレーションやパフォーマンスをしながら街が見る一夜の美しい夢として体験してもらいたいという思いを表しています。

各エリアに登場するのは、歌う塔、動く彫刻、彩りを与える布の滝など、多様な作品です。

2020年に向けて、文化の重要性がますます高まってきています。国内外に向けて発信するイベントの一つとして、六本木アートナイトをさらに盛り上げ、皆様と共に楽しい一夜を過ごしたいと思います。



※各プログラム概要は、次頁以降をご参照ください。なお本リリース内容は2018年4月時点のものであり、今後変更になる場合があります。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当：三上・小谷
TEL：03-5774-1420 FAX：03-5774-1409
Mail：ran2018@one-o.com

「六本木アートナイト 2018」のテーマ「街はアートの夢を見る」に沿って、六本木の街を彩る、広域にわたるプログラムが各エリアを繋ぎます。

「六本木アートナイト 2018」メインプログラム

金氏 徹平 | 六本木ヒルズ



完成イメージ

● 金氏 徹平 《タワー》
「タワー」は、人間のように歌い、踊り、一夜の夢を描きだします。
「タワー」には、ミュージシャンのオオルタイチと柴田聡子、ダンサーの島地保武、女優の青柳いづみ、サウンド・アーティストの荒木優光と小松千倫、ドラムの和田晋侍、映像作家の山田晋平をはじめ、劇作家の岡田利規、アーティストのcontact Gonzoなどが集います。金氏徹平が作り出すハイブリッドなコラージュ彫刻で造形とパフォーマンスの混淆を楽しむことができます。

- ・日 時：5/26(土) 18:00～5/27(日) 6:00、11:00～18:00
- ・場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・参加料：無料



撮影：川島 小鳥

＜金氏 徹平 プロフィール＞1978年京都府生まれ、同在住。2003年、京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修士修了、京都市立芸術大学彫刻専攻専任講師。「金氏徹平展：溶け出す都市、空白の森」（横浜美術館、2009）、「Towering Something」（ユルース現代美術センター、2013）、「金氏徹平のメルカトル・メンブレン」（丸亀猪熊弦一郎美術館、2016）など個展を開催。コラージュという手法を拡張しながら、絵、彫刻、写真、映像、インスタレーション、パフォーマンス、演劇など、多様なメディアで表現している。

鬼頭 健吾 | 国立新美術館



完成イメージ

● 鬼頭 健吾 《hanging colors》、《broken flowers》
カラフルな布の滝《hanging colors》は、黒川紀章による設計のガラスのファサードの形を浮き彫りにし、日中は外光が布を通して内部に色付きの夢を投影します。屋内に留まった夢は、夜には光として街に溢れ出していきます。また、《broken flowers》は国立新美術館の正面玄関前、直径約10mのスペースに5,000個ほどの手鏡が敷き詰め、花の映像を投影。美しい花は同時に空虚な夢や幻となります。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：国立新美術館
- ・参加料：無料

＜鬼頭 健吾 プロフィール＞1977年愛知県生まれ、群馬県高崎市在住。2003年、京都市立芸術大学大学院美術研究科油画専攻修士修了、京都造形芸術大学准教授。1999年、アーティストによる自主運営スペース「アーツスペースdot」を設立、運営に参加するなど名古屋芸術大学在学中から作家活動を開始。「Migration 回遊」（群馬県立近代美術館、2015）、「鬼頭健吾Multiple Star」（ハラ ミュージアム アーク、2017）など個展を開催。フワフワ、糸、鏡など、日常的な既製品を用いて、インスタレーション、平面、立体、映像など多様なメディアで表現している。



撮影：大木太

宇治野 宗輝 | 東京ミッドタウン



完成イメージ

● 宇治野 宗輝 《ドラゴンヘッド・ハウス》
自動車を「顎」に見立てた「DRAGON HEAD」シリーズの六本木バージョン。カラーコーンと車と建築が一体になった、音と光が運動する「動く彫刻」。世界各地の展覧会でも披露しています。車は家電製品や家具などと同等に大量生産と消費社会の20世紀をシンボリックに表していますが、世界中どこにでもある日常的なモノと技術を再構成し、近代文化を再定義することに取り組む作家の代表作の一つです。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン キャンピアー・スクエア
- ・参加料：無料



撮影：NIDIN SANCHES
Courtesy of YAMAMOTO GENDAI

＜宇治野 宗輝 プロフィール＞1964年東京都生まれ、同在住。1988年、東京藝術大学美術学部工芸科染織専攻卒業。「UJINO AND THE ROTATORS」（ハイワード・ギャラリー・プロジェクト・スペース、2009）、「ライヴズ・イン・ジャパン」（山本現代、2018）など個展を開催。エコハトリエンナーレ2017に参加。20世紀後半の大量消費社会における「物質世界のリサーチ」を基盤に、楽器、家具、家電製品、自動車、中古レコードなど、日常的なモノと技術を再構成し、近代の文化を再定義するサウンド／スカルプチャー／パフォーマンスの複合プロジェクト「The Rotators」に取り組んでいる。

「六本木アートナイト 2018」 広域プログラム | 街なかインスタレーション

「六本木アートナイト」の魅力は、街なかのお店やストリート、公園などにアート作品を点在させることで、普段とは違った街の表情を愉しめることです。今年も様々なインスタレーション作品が街なかに溢れ出します。



● スー・チャーシン(蘇佳星)

《Lost in Memories》

カラフルなパターンに、以前、自身が六本木を訪れたときの記憶やイメージを織り込んだ作品で、交差点の橋脚を彩ります。パターンの中に埋もれながらも、浮かび上がる、サラリーマン、高層ビル、マスクをした人など、はっきりと思い出すことのできない断片的なイメージで構成される作品は、都市の喧騒の中を行き交う人々の様子をシニカルに捉えています。

・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：六本木交差点 橋脚

・参加料：無料



展示風景：「SYMVOL」VOILLD,2016

● magma

《wonder bolt》

杉山純、宮澤謙一によるアーティストユニット・magma。廃材、おもちゃ、電動器具など、身の回りの様々な物を素材とし、広告美術、空間演出、家具、プロダクトまで幅広く手掛け多彩な作品を制作しています。今回は六本木交差点のランドマーク「時計塔」に、巨大なビス（釘）をモチーフにした作品を制作します。見慣れた物でありながら、日常では見た事のない大きさ、見られないような場所で体感し、驚きと違和感をお楽しみください。

・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：六本木交差点

・参加料：無料

● 生田目 礼一

《未来庭園》

ガラスを素材としたインスタレーション作品を2ヶ所で展開。六本木交差点 プランターでは自ら発光する極彩色の植物、六本木ヒルズ 毛利庭園では様々な環境破壊にも屈せず順応し生き続ける奇妙で不思議な未来生物の姿をファンタジックに表現します。これらのイメージは時代とともに変化し続ける六本木の街とも重なり、未来の環境問題に警鐘を鳴らします。

・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：六本木交差点 プランター、六本木ヒルズ 毛利庭園

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 牛島 光太郎

《組み合わせの方法 -六本木の場合-》

六本木で入手した様々な「モノ」と、それとは関連性のないような「言葉」を組み合わせる作品です。鑑賞者が、「モノ」と脈絡のない「言葉」をつなげようと試みる過程を経て、想像の中でつくられた文脈のようなものは、それぞれの人の記憶やモノの持つ歴史などと密接に関わります。広告や標識など明確な機能や目的のある情報としての言葉ではなく、美術としての言葉が、都市の中でどのように機能し得るかについて考えます。

・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：街なか各所

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



2017

● 志茂 浩和

《挟まる人》

建物の隙間に挟まる人。身動きの取れない状況にありながらも欲求を満たそうともがく姿は、滑稽である一方愛おしくもあります。それは、都市が持つ活気の中にあっても誰もを感じ得る閉塞感との格闘を象徴しています。

・日 時：5/26(土) 18:00～5/27(日) 5:00

・場 所：外苑東通り沿い（東京ミッドタウン向かい）

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



《GIMON》2015、展示風景：：神戸ビエンナーレ2015

● 森 貴之

《UVLS / Komainu》

神社にふさわしい狛犬をモチーフに、紫外線に反応して蛍光する糸で、立体物をデータ化するためのポリゴンを浮かび上がらせる作品。ポリゴン化された狛犬によって、2次元と3次元、デジタルとアナログ、想像と現実の間を行き来するような世界感を六本木の街中で体感することができます。

・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：天祖神社

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



展示風景：スマートイルミネーション横浜2017 撮影：富田了平

● 小原 典子
《鳥の交差点》

東京は都会であるにもかかわらず、緑や水辺が多い場所です。その中で毎年さまざまな野鳥が多く飛来します。六本木は毎年世界中から多くの国の人々が訪れています。さまざまな人の交流の場でもあり、独特の文化を築き発信しています。東京に生息する鳥を、六本木に集う人々のメタファとして7色に光る鳥の翼を設置します。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1F
- ・参加料：無料

● 片岡 純也
《すり抜ける紙飛行機》

身の回りの物や日常の生活から得た、何気ない発見から詩的な装置を制作しています。紙飛行機を正面から見るとT字形となることにふと気がついたことから作品の着想を得ました。紙飛行機が壁に開けられたT字のスリットをすり抜けていきます。障壁を乗り越えるでもぶち当たるでもなく、すり抜ける紙飛行機は見る人の気分を軽やかにすることでしょう。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ウェストウォーク2F
- ・参加料：無料

● 三枝 文子
《踊るランタン》

「家族への思い」をテーマに、地域の方とのワークショップを通して制作した約100点のランタンを毛利池に浮かべ、柔らかな明かりを六本木の夜に灯します。ふわりと踊るように回転するランタンは、それぞれの記憶や思いをのせる器となり、豊かに共鳴する光の空間を創り出します。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ 毛利庭園
- ・参加料：無料

● サムワーズガーデン x アトリエまあん
《時のウロボロス》

古代より世界中の神話に登場する“ウロボロス”は、己の尾を噛んで環となった竜で描かれる「循環」の象徴。「ウロボロス」のゲートをくぐり抜けると瞑想的な音に包まれ、八ノ字型に配置された木の小竜の上を歩くと夜には、「光の影」が現れます。作家&キュレーター&編集者として活動するサムワーズガーデンとアーティストのアトリエまあなが、六本木の街に創り出すインタラクティブな現代の「時の神話」が生まれる瞬間を、身体全体で感じてください。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料

● 富永 ボンド
《ボンドアート》

多彩な絵の具と木工用ボンドを使って絵を描く画家、富永ボンド独自の画法「ボンドアート®」によって描かれる、巨大絵画ライブペインティングやワークショップを楽しむことが出来ます。来場者の方々との合作創作も実施します。子供も大人も絵を描くことの楽しさを感じてもらいたいと願い、「アート」「地域」などをつなぐ（接着する）ことをテーマに作家活動をしています。今回も同様のテーマで作品を創ります。

- ・日 時：5/26(土) 11:00～5/27(日) 18:00
ライブペインティング 5/26(土) 20:00～5/27(日) 18:00
※完成次第終了、途中休憩時間あり。
- ・場 所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料

● 丸 倫徳
《Untitled》

様々な旅を通して、サイトスペシフィックなドローイングや、大型の壁画などを制作してきた丸 倫徳。今回は、六本木という都市の中で、ライブペインティングを行います。

- ・日 時：5/26(土) 15:00～5/27(日) 18:00
※ライブペインティングは、5/27(土) 6:00頃まで、途中休憩時間あり。
- ・場 所：六本木西公園（予定）
- ・参加料：無料



EVERYDAY HOLIDAY SQUAD 《rode work》
写真提供：Reborn-Art Festival 2017
撮影：後藤秀二

● サイドコア

《ロードワーク》

夜間工事用の照明機材を利用して作られたシャンデリアと、工事現場をスケートパークに変えてしまった映像作品を展示します。この作品はアートユニット、EVERYDAY HOLIDAY SQUADの作品で、もともと宮城県石巻市のONEPARKという、被災した元倉庫を利用したスケートパークで制作されたものでした。今回は東京の夜間工事用品を利用したシャンデリアを再制作し、東京で撮影した新たな映像を組み合わせます。これは被災地と東京を、ストリートカルチャーの視点で繋げる実験です。

・日 時：5/26(土) 15:00～5/27(日) 18:00

・場 所：芋洗い坂駐車場

・参加料：無料

● CALAR.ink

《Dreaming Frame -ゆめみるがくぶち-》

来場者は不思議な絵画の世界に迷い込み、様々な体験をすることになります。一人一人の行動が、絵の中の世界に影響を与え、それぞれ異なった物語が生み出されます。そこで生み出された物語によって絵の内容は変化し、世界に二つとない特別な絵画が完成します。物語の終わりに一体どのような作品が出来上がるのでしょうか。あなただけの物語を紡いでみてください。

・日 時：5/26(土) ①19:00～20:00 ②20:00～21:00 ③21:00～22:00 ④22:00～23:00

5/27(日) ⑤0:00～1:00 ⑥1:00～2:00 ⑦2:00～3:00 ⑧13:00～14:00

⑨14:00～15:00 ⑩15:00～16:00 ⑪16:00～17:00 ⑫17:00～18:00

・整理券配布場所：六本木アートナイト運営本部(ラピロス六本木)

5/26(土) ①②③④回の整理券は5/26(土) 18:30に配布

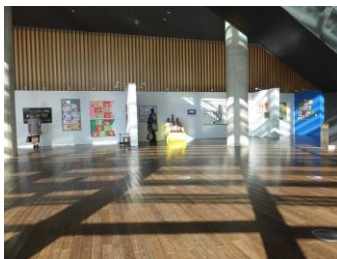
5/27(日) ⑤⑥⑦回の整理券は5/26(土) 23:00に配布

5/27(日) ⑧⑨⑩⑪⑫の整理券は5/27(日) 12:30に配布

・参加料：無料



《During the Night-よるのあいまに》
2017



● アール・ブリュット&障害をもった人の作品展

《「共生のエレメントー Dreaming ART Night」》

人間とは何？Artとは何？国籍も性別も、持って生まれたそれぞれの違いも、全て飛び越えられるのがArtの力でしょうか？他者と違うことを知って寄り添う優しさが、共生の出発点だと考えます。共に生き暮らすこの地球が、日本がずっと平和であるように、一夜の夢で終わらぬように、Artを通じて共生の豊かさを発信します。あなたは どう思いますか？Artとは何でしょう？共に生きるためには何が必要だと思いますか？

・日 時：5/26(土) 10:00～22:00、5/27(日) 10:00～18:00

・場 所：国立新美術館 1階ロビー

・参加料：無料

「六本木アートナイト 2018」広域プログラム | 街なかパフォーマンス

六本木の街なかでいくつものパフォーマンスが開催されます。臨場感あふれるパフォーマンスが、特別な世界へと導きます。

● 金氏 徹平

《オープニングアクト》

オオルタイチのライブ、島地保武の振り付けにより「タワー」も歌って踊り、金氏徹平と山田晋平による映像ライブによって、オープニングを盛り上げます！

・日 時：5/26(土) 18:30～18:45

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

● 金氏 徹平

パフォーマンス《ザ・コンストラクションズ、2018年のルーフトップコンサート》

ミュージシャンで詩人の柴田聡子によるライブ、アーティストのcontact Gonzoとドラム奏者の和田晋侍によるパフォーマンスと、金氏徹平、山田晋平の映像ライブ。

・日 時：5/26(土) 19:15～20:00

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

● 金氏 徹平

パフォーマンス《「オバケのレクチャー」》

青柳いづみ、原田拓哉、迫鉄平が出演する「オバケのレクチャー」。小松千倫の音楽、金氏徹平、山田晋平の映像と融合するパフォーマンスです。

(出演：青柳いづみ、原田拓哉、迫鉄平、音楽：小松千倫、映像：金氏徹平、山田晋平)

・日 時：5/27(日) 1:00～1:20

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



撮影：守屋友樹



撮影：西光祐輔



撮影：井上嘉和



撮影：守屋友樹

● 金氏 徹平

パフォーマンス《二種類のトリートメント》

岡田利規が作・演出を手がけ、青柳いづみ、オオルタイチ、ミケ尻敬吾、荒木優光、原田拓哉、迫鉄平が出演。音楽は小松千倫、映像は金氏徹平、山田晋平が担当します。

（作・演出：岡田利規、出演：青柳いづみ、オオルタイチ、ミケ尻敬吾、荒木優光、原田拓哉、迫鉄平、音楽：小松千倫、映像：金氏徹平、山田晋平）

・日 時：5/27(日) 1:20～1:50

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



撮影：守屋友樹

● 金氏 徹平

フィナーレ《たてもの》

それまでの「タワー」にまつわるパフォーマンス出演者たちが、オオルタイチを中心としたバンドを結成し、巨人ゆえにデカイの名曲「たてもの」を演奏します。

（出演：タワー出演者一同）

・日 時：5/27(日) 17:30～18:00

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



● 加藤 立

《夜警》

東京のオフィスには、おそらく何千という数の警備員が毎晩真っ暗なオフィスを徘徊している。彼らは同じような制服を着た、全く異なるパーソナリティを持った人々である。この作品ではそれらの多様なパーソナリティが映り込んだ美しい夜景を、オープンシアターという形で観劇します。

・日 時：5/26(土) ①22:00～22:30、5/27(日) ②0:00～0:30、③2:00～2:30

・場 所：桂由美ブライダルハウス 東京本店

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 崎山 莉奈（カンパニーデラシネラ）

《12:47》

美術家石黒猛と光と身体のコラボレーションを行います。使用する美術は、蛍光灯に模した2本の光る棒のみ。光と音は全てプログラミングされており、一度ボタンを押した瞬間から進み続けます。その制約の中で、生の身体がどこまで自由になれるか。そこに生の身体の意味が入り込む余地は。周りの全てが日常の中、光と音に制約された空間で、一人のダンサーが覚醒し、躍動して立ち上がります。

・日 時：5/26(土) ①19:20～19:40、②20:30～20:50、③22:50～23:10、5/27(日) ④0:00～0:20 ※予定

・場 所：①東京ミッドタウン プラザ1階、②天祖神社、③六本木ヒルズ 66プラザ、④六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



撮影：bozzo

● Contact Arts Company

《RINGO》

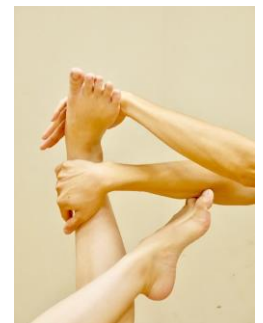
コンタクトボディワークによる身体表現の可能性を探求しているカンパニー。互いの身体が触れ合った状態を継続させ様々なダンスの要素を取り入れ、即興の動きを入れる事により生まれる異色のアートパフォーマンス。本公演では六本木ヒルズアリーナのセンターを地球の「コア」とし、海から陸へそして現代へ至るまでを表現します。

・日 時：5/26(土) 23:00～23:20、5/27(日) 2:30～2:50

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 宮本 宗

《影ワニ》

古い日本の伝承に「影ワニ」という怪魚の伝説があります。海に突然現れた巨大な影に自らの影を飲まれた者は命を落とすというもので、この「影ワニ」という異質な存在を、鉄の衣に覆われた巨大鉄骨生物としてアーティスト宮本宗がクリエイトします。六本木ヒルズアリーナ付近に潜伏し、不定期でパフォーマンスを行う予定です。パフォーマーと観客が一体となって創り出す作品《影ワニ》を御期待ください。

・日 時：パフォーマンス 不定期実施

展示 5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00

・場 所：六本木ヒルズアリーナ周辺

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



● 小田 浩之×高橋 灯

《『4'33"』》

ジョン・ケージ『4分33秒』を独自の解釈で「コンテンポラリーダンス×映像」として公演。映像制作を手掛ける教師と高校生ダンサーによるコラボ作品。作家が切り「撮」る東京の4分33秒を、ダンサーが人生の4分33秒、燃焼する。私/彼女/あなたの4分33秒。出会い、交差し、同期し、すれ違う。ある夜の東京の4分33秒。「語るべき事は何もなく、私はそのように語っている、それが詩だ」—John Cage

・日 時：5/26(土) ①20:30～20:36、②22:30～22:36

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

「オープンコール・プロジェクト」採択プログラム



「オープンコール・プロジェクト」とは・・・

昨年に引き続き、六本木アートナイト出展作品の公募を行う企画。今年は、13プログラムが採択されました。

「六本木アートナイト 2018」広域プログラム | 街なかミーティング

「街なかミーティング」は、アーティストや参加者がひとつになって楽しむ交流型プログラムです。六本木の様々な場所で、出会い、語らい、聴き、動き、体感し、参加することで得られるアートの楽しみ方が、ここにあります。



撮影：川島小鳥



撮影：大木太



撮影：NIDIN SANCHES

● 金氏 徹平、鬼頭 健吾、宇治野 宗輝 × 南條 史生

《テーマトーク》

「六本木アートナイト2018：街はアートの夢を見る」のメインプログラムを手掛けるアーティスト、金氏徹平、鬼頭健吾、宇治野宗輝の3名が、実行委員長の森美術館館長 南條史生とトークします！

・日 時：5/26(土) 21:00～21:30

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料



撮影：パトリック・ツァイ

● 金氏 徹平

ワークショップ《オバケのスカulptチャー》

カラフルな既製品を建物のように積みあげ、そこに白い樹脂をかけて雪のように覆いつくす彫刻作品「White Discharge」の制作過程を追体験するワークショップ型パフォーマンス「オバケのスカulptチャー」。音楽をnew manukeが担当します。

・日 時：5/27(日) 13:00～15:00

・場 所：六本木ヒルズアリーナ

・参加料：無料

三河台公園（予定）
～Time Traveler 時の上を歩こう～

● 柴川 敏之

《「2000年後の六本木プロジェクト」》

今から約2000年前、イタリアのポンペイの町は火山の大噴火によって一瞬にしてその姿を消しました。私たちが生きている現代社会は、ポンペイの時代よりもさらに危険な時代かもしれません。もし、2000年後の41世紀に、私たちの現代社会が発掘されたとしたら、一体どうなっているのでしょうか？未来にタイムスリップして「2000年後の六本木遺跡」に広がるいくつかの発掘現場を体験してみましょう！

・日 時：○識者の木（展示）| 2000年後を目で発掘しよう！

5/26(土) 10:00～17:00、5/27(日) 10:00～18:00

○賢者の道（ワークショップ）| 2000年後をローラーで発掘しよう！

5/26(土) 10:00～24:00、5/27(日) 10:00～18:00 ※所要時間10分程度。

帆布が無くなり次第終了。途中休憩あり。

○勇者の砂丘（体験型）| 2000年後を砂場で発掘しよう！

5/26(土) ①11:00、②13:00、③16:00、5/27(日) ①11:00、②13:00、

③15:00 ※各回約30分、各回10名、事前募集

○勝者の館（参加型）| 2000年後を占おう！

5/26(土) 19:00～24:00 ※所要時間10分程度

・場 所：三河台公園（予定）

・参加料：無料 ※応募方法の詳細は後日Webでお知らせします。



写真上：2000年後を目で発掘しよう！

左下：2000年後の未来遺跡を発掘しよう！

右下：2000年後に発掘された招き猫の化石

● 小菱屋 忠兵衛（小嶋俊、小嶋諒）

《「提灯が照らす六本木ベースキャンプ」》

六本木の公園に小菱屋忠兵衛の工房が出現。京都の工房さながらの提灯作りを行い、やさしい明かりで公園を包みます。提灯職人への弟子入り体験やミニ提灯作りワークショップも。暗くなった頃には、みなさんに作ってもらったちび丸や堂島、八目など大小様々な提灯で明かりのインスタレーションを行います。過去・現在・未来へと、連綿と続く提灯の灯りの世界をご覧ください。

- ・日 時：○時のあかり（出張工房＋参加型）
5/26(土) 10:00～24:00、5/27(日) 10:00～18:00
- 提灯！提灯！（インスタレーション）
点灯は5/26(土) 16:30～24:00、5/27(日) 17:00～18:00
- 弟子入り体験
5/26(土) ①11:30 ②20:00 ③22:00、5/27(日) ④11:30 ⑤14:00 ⑥16:00
※各回約60分、事前募集
- 未来の光景を作ろう！（ミニ提灯作りワークショップ）
5/26(土) 14:00～15:30 ※事前募集
- ・場 所：三河台公園（予定）
- ・参加料：無料 ※応募方法の詳細は後日Webでお知らせします。



小菱屋忠兵衛工房

● 谷口 西欧

《往古来今 流れる時間を言葉で捉えるワークショップ》

タイムトラベルする作品がある公園で、時の流れの上を歩きましょう。巡り合った誰かの感じたことに耳を傾けたり、自分でも言葉にしてみたり。過去から未来へ続く「いまこの瞬間」の言葉を見つけます。

- ・日 時：5/26(土) ①20:00～21:00、②22:00～23:00、5/27(日) ③14:00～15:00
- ・場 所：三河台公園（予定）
- ・参加料：無料 ※事前募集、応募方法の詳細は後日Webでお知らせします。



谷口 西欧



● 《六本木アートナイトをもっと楽しむガイドツアー》

4年目に突入する、ボランティアによるガイドツアーを開催します。ACOPという独自の鑑賞法を踏まえ、美術教育研究者である平野智紀による事前トレーニングを積んだボランティアガイドは、一般的な作品知識を伝えるガイドツアーとは異なり、参加者と共に対話を重ねながら作品や六本木の街の魅力へと接近していきます。参加者のキャラクターや人数によっても様相が異なり、2度と同じツアーはありません。

- ・日 時：5/26(土) 15:00～24:00（予定）
- ・ツアー開始場所：六本木アートナイト運営本部（ラピロス六本木）
- ・参加料：無料 ※ツアー実施時間などの詳細は後日Webでお知らせします。

● ROPPONGI ART NIGHT CAFE Supported by Sogo

《inVisible Playcity 都市は見えない遊び場展》

今年のアートナイトカフェでは「都市は見えない遊び場」をテーマに、愛らしくもバカバカしい日本初発表の作品展示や、アーティストと街を回遊するワークショップ、食べて参加するアートプログラムなどを開催。このプログラムを体験したら、きっとあなたも六本木の遊び方を考えなくなるはず!?

- ・日 時：5/26(土)～5/27(日) 5:00、5/27(日) 11:00～23:00
※「六本木アートナイト2018」開催に伴い営業延長
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルズ カフェ/スペース
- ・参加料：無料 ※会場内での飲食は有料になります。

○ キャサリン・ディグナツィオ

「JUST DO IT」など企業のキャッチコピーを実際に実演する作品《企業からの指令》や、公共スペースで無料で遊ぶ方法をまとめた映像作品《ハーバードスクエアを無料で遊ぶ57の方法》、そして今回のプロジェクトに合わせて制作するスペシャルなフォトスポットを発表します。

○ 苦瓜推進協議会

「苦み」をキーワードに感情と味覚を探究したアートプロジェクトである苦瓜推進協議会のオリジナルマスケットの展示と、期間限定で販売される苦瓜のスペシャルメニューを食べて参加する「食べる苦瓜プロジェクト」を実施します。

○ 井上尚子

井上がミュンヘン市内の古書店など集めた「甘い香りの本」を展示する《The Library of Smell(匂いの図書館)》の発表、参加者と共にツアー形式で街を巡るワークショップ「くんくんウォーク in 六本木」を発表します。



北浦とおかわり芸術祭 回遊美術館Ⅲ
2016年／撮影：島田春菜

「六本木アートナイト 2018」 | 同時開催プログラム



● シーラ・ヒックス

《灯台》

トライセブン ロッポンギのオフィスエントランスにシーラ・ヒックスのアートが出現。今、私たちが生活している機能的で実利的な建築物に潤いを与え、浄化するアートを作成するシーラ・ヒックスとPEMBROKEのデザイン建築の融合に注目。

- ・日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：トライセブン ロッポンギ
- ・参加料：無料

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 六本木ヒルズ プログラム

六本木ヒルズの各所に多彩なインスタレーションやイベントが集まり、六本木アートナイトを盛り上げます。

● マグダ・セイエグ

まちと美術館のプログラム「六本木ヒルズ 15 周年記念インスタレーション」

六本木ヒルズのシンボルとして、また待ち合わせ場所として定着している66プラザのルイズ・ブルジョワによる巨大彫刻《ママン》。広場の環境が、新進気鋭のテキスタイルアーティスト、マグダ・セイエグの手により、まったく新しい風景に生まれ変わります。セイエグは、日常的な都市空間を、毛糸の編み物で覆い、街の見え方を一変させるアートプロジェクトを続けており、今回がアジア初出展となります。

- ・ 日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・ 場 所：六本木ヒルズ 66プラザ
- ・ 参加料：無料



Louise Bourgeois's 1999 bronze sculpture Maman wrapped in fabric by Magda Sayeg in a temporary installation at Roppongi Hills, Tokyo, April-May 2018.
©The Easton Foundation/Licensed by JASPAR, Tokyo and VAGA, New York

● ニコラ・ビュフ

《提灯ロケット》

「提灯ロケット」は、お神輿、灯籠、鳥居といった日本の伝統的な建築要素、エンジン、エネルギー電池、金属フレームといった宇宙開発の技術、アラベスクの翼といったバロック様式の装飾を、自由にミックスしたものです。本作は工芸的な技術と最新テクノロジー、ローテクとハイテクに関する問題を提示しながら、私たちを想像上の時空を超えた旅へと誘います。宇宙（コスモス）との縁を思い出させてくれるロケットに、点火！星へ出発！

- ・ 日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・ 場 所：六本木ヒルズウェストウォーク2F
- ・ 参加料：無料



撮影:ニコラ・ビュフ、展示風景: K11香港

● ツワージック・チン・チョー・レン

《みんなのちから V, 東京》

色とりどりのチューブ状の装飾が磁石でくっついた箱型の作品。装飾を自由に並べ替えて、あなたも新しい作品を創ることが出来ます。アートは街中のカフェにも、道にも、庭にも存在し、自身も参加できるものであってほしい。それが作家の希望です。この作品は、アートを通して知らない人同士が対話したり、いつの間にか繋がったりする装置ともいえます。みんなのちからで何ができるかな。

- ・ 日 時：5/26(土) 10:00～5/27(日) 18:00
- ・ 場 所：六本木ヒルズ ノースタワー タリーズコーヒー前
- ・ 参加料：無料



《みんなのちから I》2007
展示風景: シンガポール国立博物館
撮影: Vincent Twardzik Ching

● 近藤良平とその仲間たち

ろくぼんちくやまいば

《六本木夜舞場 Vol.6 (真夜中の盆踊り)》

今年も深夜に突如踊り舞台が出現します。コンドルズを主宰する振付家・ダンサーの近藤良平を音頭取りに、熱く静かに真夜中の盆踊り。踊らにゃ損損！

- ・ 日 時：5/27(日) 3:00～3:30
- ・ 場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・ 参加料：無料



撮影: HARU

● 日本フィルハーモニー交響楽団×インビジュアル

《クラシックなラジオ体操》

六本木アートナイト2016、2017で大好評だった「クラシックなラジオ体操」が今年も開催！朝を迎えるにふさわしいクラシック音楽と、新たな気持ちで一日をスタートさせるためのラジオ体操の音楽を、日本フィルハーモニー交響楽団が生演奏。素晴らしいクラシック音楽と共に朝を迎え、そしてラジオ体操で身体を動かし、身も心も健やかな朝を迎えましょう！

- ・ 日 時：5/27(日) 5:00～6:00
- ・ 場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・ 参加料：無料



● +81

《Eighty-one Moment》

国内外でトップクラスのキャリアを積んだダンサー／振付家の柳本雅寛が率いるダンスユニット。枠にとらわれないパフォーマンスとコラボレートするのはアフリカンドラムを中心としたパーカッショニストの坪内敦。

- ・ 日 時：5/27(日) 16:20～16:40
- ・ 場 所：六本木ヒルズアリーナ
- ・ 参加料：無料



撮影:大洞博晴

●六本木ヒルズ・森美術館

まちと美術館のプログラム「紡木（つむぎ）プロジェクト」

六本木ヒルズ15周年に際し街にゆかりのある方を募り、皆で対話しものづくりを行なうワークショップを2018年2月から実施しました。六本木の街の軌跡を振り返りながら未来への思いを紡ぎ、参加者がひとつのシンボルを作り上げます。「六本木アートナイト」期間中、シンボルはより多くの思いを集める装置として、一般の方々にも言葉集めにご参加いただけます。

- ・日 時：5/26(土) 13:00～5/27(日) 18:00
- ・場 所：六本木ヒルズ ヒルサイド1階
- ・参加料：無料
- ・主 催：森ビル株式会社・森美術館／企画協力：NPO法人インビジブル



撮影：田山 達之

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 森美術館 プログラム

森美術館では、翌朝6:00まで開館時間を延長し、トークセッションなどの特別企画を実施します。この機会に、深夜の美術館を体験してください。

期間中の展覧会

●「建築の日本展：その遺伝子のもたらすもの」

いま、世界が注目する日本建築。その独創的な発想と表現を可能にした遺伝子があるとしたら何か。本展は、縄文の住居から最新の現代建築まで100プロジェクト、400点を超える多彩な展示を通して、未来へ伝えたい、日本建築の多様性と可能性に迫ります。

- ・開催期間：4/25(水)～9/17(月・祝) ※会期中無休
- ・開館時間：10:00～22:00（最終入館 21:30）
※火曜日のみ17:00まで（最終入館 16:30）
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は翌6:00まで
- ・会 場：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）
- ・入館料：一般 1,800円、高校生・大学生 1,200円、4歳～中学生 600円、シニア（65歳以上）1,500円

六本木ヒルズ・森美術館15周年記念展
建築の日本展
その遺伝子のもたらすもの
JAPAN ON ARCHITECTURE
Genealogies of Its Transformation

●ディスカッション・シリーズ 第1回「激論！『建築の日本展』を語りつくす」

※日本語のみ

書籍『建築巡礼』シリーズでお馴染みの磯達雄、宮沢洋、建築史家の五十嵐太郎を招き、明治・大正建築を起点として、現在までの日本建築を多方面から考えます。「建築の日本展」を楽しむポイントも満載です。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～21:00（受付開始 18:30）
- ・出 演：磯 達雄（建築ジャーナリスト）、宮沢 洋（日経アーキテクチュア編集長）、五十嵐 太郎（東北大学大学院教授、建築史家）、前田 尚武（森美術館建築・デザインプログラムマネジャー）
- モデレーター：倉方 俊輔（建築史家、大阪市立大学大学院工学研究科准教授）
- ・会 場：森美術館 オーディトリウム（六本木ヒルズ森タワー53階）
- ・定 員：80名（要予約）

※お申し込みは森美術館Webサイト（<https://www.mori.art.museum>）にて

- ・入館料：無料（ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です）

●耳でみるアート「暮らしの中から、建築や街を考えよう」 ※日本語のみ

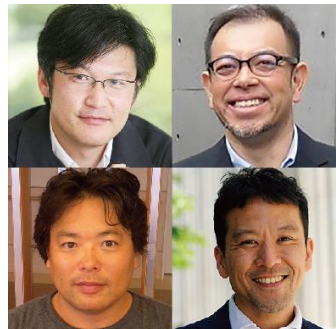
視覚に障がいがある方を対象とした、スタッフとの対話を通して作品を楽しむツアーです。今回は、建築家の成瀬友梨と共に展覧会を体験しながら、暮らしの中の視点から未来の建築や街について考えます。本プログラムは見える、見えないにかかわらず、どなたでもご参加いただけます。

- ・日 時：5/27(日) 13:00～15:00
- ・出 演：成瀬 友梨（建築家）
- ・会 場：森美術館 展示室内（六本木ヒルズ森タワー53階）
- ・定 員：10名（要予約）

※お申し込みは森美術館Webサイト（<https://www.mori.art.museum>）にて

- ・入館料：無料（ただし、当日有効の森美術館の展覧会チケットが必要です）

※障がい者手帳をご持参の方（介助者の方1名を含む）は無料



左上から磯 達雄（撮影：鈴木愛子）、宮沢 洋、五十嵐 太郎、倉方 俊輔（撮影：下村 しのぶ）



● MAMコレクション007：見えない都市
イ・ブル、ジャガンナート・パンダ、黒川紀章の作品を通して建築や都市を考察

● MAMスクリーン008：近藤聡乃
代表作であるアニメーション3作と短編漫画を紹介

● MAMプロジェクト025：アピチャップン・ウィーラセタクン+久門剛史
コラボレーションで制作された新作映像インスタレーション《シンクロニシティ》を発表

- ・開催期間：4/25(水)～9/17(月・祝) ※会期中無休
- ・開館時間：10:00～22:00（最終入館 21:30）
※火曜日のみ17:00まで（最終入館 16:30）
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は10:00～翌6:00まで
- ・会場：森美術館（六本木ヒルズ森タワー53階）
- ・入館料：一般 1,800円、高校生・大学生 1,200円、4歳～中学生 600円、
シニア（65歳以上）1,500円
※「建築の日本展」チケットで鑑賞可



ジャガンナート・パンダ
《叙事詩 III》2010年

- 六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館
六本木ヒルズ森タワー52階 東京シティビュー屋内展望台（海拔250m）は「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、オールナイトで開館します。普段は見る事ができない夜更けからサンライズまでの幻想的な朝焼けや東京の街の表情の変化をお楽しみ下さい。
- ・開館時間：平日・休日 10:00～23:00（最終入場は22:30）
※金・土・休前日は25:00まで開館
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土) 10:00～翌6:00まで
- ・場所：東京シティビュー（六本木ヒルズ森タワー52階）
- ・入館料：一般 1,800円、シニア 1,500円、高校生・大学生 1,200円、
4歳～中学生 600円



- 創刊50周年記念 週刊少年ジャンプ展VOL.2 – 1990年代、発行部数653万部の衝撃 –
1968年に創刊された「週刊少年ジャンプ」が今年50周年を迎えるにあたり、創刊から現在までの歴史を振り返る展覧会を3回に分けて開催。VOL.2では『DRAGON BALL』『SLAM DUNK』『幽☆遊☆白書』『遊☆戯☆王』など、時代を代表する名作の貴重な原画の数々や、本展でしか見られないオリジナルの映像などを展示。記念のオリジナルグッズも多数登場。
- ・開催期間：開催中～6/17(日) まで
- ・開館時間：平日 10:00～20:00（最終入場は19:30）
※ 4/28(土)から5/6(日)の間のみ9:00～21:00（最終入場は20:30）
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は22:00まで開館延長
- ・休館日：会期中無休
- ・会場：六本木ヒルズ森タワー52階 森アーツセンターギャラリー
- ・入館料：一般・学生 2,000円、高校生・中学生 1,500円、4歳～小学生 800円
※4歳未満は無料
- ・公式Webサイト：<https://shonenjump-ten.com/>



- 美島 菊名「HOPE」
六本木ヒルズアート&デザインストアに併設のA/Dギャラリー。美島菊名はイメージが浮かぶと、ラフスケッチを描いて場所を決め、モデルの立ち位置から道具作りまで細部にこだわった演出で、彼女の世界を1枚の写真という方法で表現します。
- ・開催期間：開催中～ 5/27(日)
- ・開館時間：12:00～20:00
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は21:00まで開館延長。
- ・休館日：会期中無休
- ・場所：ROPPONGI HILLS A/D GALLERY（六本木ヒルズ森タワー ウェストウォーク3階）
- ・入館料：無料



「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 東京ミッドタウン プログラム

東京ミッドタウンでは、いたるところに作品が点在、公開制作やワークショップ、公募展の展示など、アートを五感で楽しめるイベントを多数開催します。



● 鈴木 康広

《空気の人》

現代アーティスト・鈴木 康広の代表作品《空気の人》が芝生広場に登場。目に見えないものを透明素材でできた人の形に切り取った空気の彫刻と一体になって、東京ミッドタウンの芝生広場を体感してみませんか。

- ・日 時：5/26(土) 11:00～23:00、5/27(日) 11:00～18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン 芝生広場
- ・参加料：無料 ※雨天・荒天中止

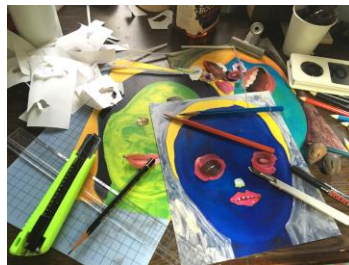


● 遠藤 有奈

《Street Art Performances "Cube"》

粘土、銅線、銅板などを用いて「都市」をテーマに作品を制作する遠藤 有奈。六本木アートナイトでは、銅線、銅板を使い、「都市」を表現した立体作品を展示するとともに、同様の素材を使い、簡単な構造体から2次元と3次元の関係性について考えてもらうワークショップを行います。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～5/27(日) 4:30 ※材料がなくなり次第終了
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料

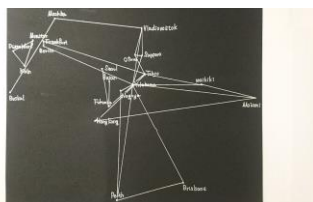


● 大野 光一

《Street Art Performances "あなたとかなたのかおを作る"》

人の「顔」をモチーフに作品制作をしている大野光一。人の顔が持つ原始的な美しさをテーマに作品を制作しているが、人の顔の皮の裏側には何か得体の知れない禍々しい物、その人の魂の様な物が有るのかもしれないと考えている大野は、作品を展示するとともに、「顔」を通して様々な感覚を味わってもらうワークショップを行います。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～5/27(日) 4:30 ※材料がなくなり次第終了
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 金子 未弥

《Street Art Performances "セルフポートレート -場所と記憶を結ぶ形-"》

金子未弥は、地図を通して人と場所の関係を模索し、見えない都市の姿に迫るような作品を制作しています。六本木アートナイトでは、作品を展示するとともに、参加者との対話で「場所の記憶」をたどりながら、地図上に記しをつけるワークショップを行います。繋がる記しの軌跡は、実は参加者自身の記憶を辿るセルフポートレートになっているのです。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～5/27(日) 4:30 ※材料がなくなり次第終了
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 松本 千里

《Street Art Performances "Chain Grown"》

染織を専門とし、その技術を活かして作品を制作する松本千里。「芽生え」を表現した作品を展示するとともに、その作品を完結させるかのように、六本木アートナイトで公開制作として作品に手を加え、一晩のうちに異なる風景を生み出していきます。芽吹いたものの生命力が広めていく様を感じてください。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～5/27(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料



● 山根 英治

《Street Art Performances "紐で葉っぱの絵を描こう"》

紐を使い、独特の世界観を表現している山根英治。ムービングしている人体（全身の自画像）と草木を重ね合せた線画を描き、その線を染色した綿紐でなぞって固め、レース状の薄いシートになった人体を作っています。六本木アートナイトでは、人体（全身の自画像）と草木を重ね合せ、染色した綿紐で表現する作品を展示するほか、その技法を使って作品を作るワークショップを行います。最終的には参加者が作った作品を使って作品を完成させます。

- ・日 時：5/26(土) 19:00～5/27(日) 4:30
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料 ※各回5人/時間に入れ替え制



- 遠藤 有奈、大野 光一、金子 未弥、七瀬 綾乃、松本 千里、山根 英治
《Street Museum》

明日を担うアーティストやデザイナーの発掘と応援をするデザインとアートのコンペティション「Tokyo Midtown Award」。2017年度アートコンペ受賞作家6名が本展覧会のために制作した、インスタレーションや彫刻などの最新作が プラザB1に登場します。今注目の若手作家の才能と個性あふれる作品をぜひお楽しみください。

- ・日 時：5/26(土) 10:00~5/27(日) 5:00、5/27(日) 10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザB1階 メトロアベニュー
- ・参加料：無料



©Reborn-Art Festival 2017

- JR

《インサイドアウト・プロジェクト IN JAPAN presented by Reborn-Art Festival》
パリを拠点に活動するアーティスト・JRが世界中に呼びかけたアートプロジェクト『INSIDE OUT』は、2011年のスタートから、これまでに129カ国、260,000人以上の人々が参加しているプロジェクト。大都市から紛争地帯と様々な場所で、そこに住む人々のポートレートに巨大なポスターとして街に貼り出し、一人一人の語られない物語を街に映しだしています。今回、宮城県石巻市で開催されるリボーンアート・フェスティバルとのコラボレーションにより、東北の被災地を巡った撮影室とプリンター付きのトラックがアートナイトに登場。みなさんのポートレートで六本木の街をベイスティングしていきます。

- ・日 時：5/26(土) 10:00~5/27(日) 5:00、5/27(日) 10:00~18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1階、B1階
- ・参加料：無料

※六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#16



- 須藤 玲子

《「街中こいのぼり」ワークショップ 2018》

国立新美術館で開催中の「こいのぼりなう！」のテキスタイルデザイナー須藤玲子氏を講師に迎え、世界にひとつだけのオリジナルこいのぼりをつくります。できあがった作品をみんなで街中で泳がせて、景色が変わることを一緒に楽しんでみましょう。

- ・日 時：5/26(土) 14:00~15:30 ※先着20名
- ・場 所：東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン ※雨天・荒天時はプラザB1階で実施
- ・参加料：無料

※六本木未来会議アイデア実現プロジェクト#11



- 大村 雪乃

《Tokyo city view》

一見すると夜景にしか見えませんが近くで見るとシールにしか見えないという大村の手法は、私たちが無意識に持っていた固定概念を揺さぶります。どんな素材でもアイディア一つで豪華な表現ができるという発想の転換を楽しんでいただくとともに、大量生産された文具品に置き換えることで日々消費し続ける電力に対する環境破壊への警鐘を鳴らしています。

- ・日 時：5/26(土) 10:00~5/27(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1階
- ・参加料：無料



- 栗 真由美

《ビルズクラウド》

六本木の街は、様々なジャンルの様々な人々が悲喜こもごも行き交う大都会。それを象徴するかのよう、街には数多くの商業施設やオフィスビルが建ち並びます。そこから放たれる照明や看板の輝きは日々の人々の営みであり、集合体ともなると六本木の街のエネルギーそのものを象徴しているかのようです。この作品ではそんな六本木を司る街の明かりに着目し、ミニチュアハウスとして再現します。

- ・日 時：5/26(土) 10:00~5/27(日) 18:00
- ・場 所：東京ミッドタウン プラザ1階
- ・参加料：無料



- 廣川 玉枝 × 湯浅 永麻 × 脇田 玲

《XHIASMA》

闇に浮かぶ身体と、光の交差で新たな視点を共有するダンスパフォーマンス。

- ・日 時：2018年5月27日(日) 1:30~3:00 (受付 開演30分前)
- ・場 所：東京ミッドタウン・ガーデンテラスB1階 (受付：外苑東通り沿いガレリア入口)
- ・参加料：無料 ※先着150名
- ・協 力：Dance New Air 2018、Scott Allen



● epa! / 武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

《Colorized Night》

武蔵野美術大学の学生による舞台制作グループepa!は、美大生メンバーが集まり専門性の高い技術や知識、価値観をぶつけあい融合させることでひとつの舞台を制作しています。六本木アートナイトでは、「光が遊ぶ」をテーマに、輝きを失った世界が少しずつ色と光に溢れていく様子をパフォーマンスショーのかたちで表現します。色と光が遊ぶ夜、世界が再び輝き出す。

・日 時：5/26(土) 18:30～ / 19:30～ / 20:30～

・場 所：東京ミッドタウン 外苑東通り沿い ガレリアゲート前

・参加料：無料

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 国立新美術館 プログラム

メインプログラムの鬼頭健吾の作品が、国立新美術館のエントランスを華やかに彩る中、人気の「TOKYO_ANIMA!」や、「こいのぼりなう！」展関連スペシャル・プログラムではsoftpadによるライブパフォーマンスを開催します。

期間中の展覧会

● こいのぼりなう！ 須藤 玲子×アドリアン・ガルデル×齋藤 精一によるインスタレーション
テキスタイルデザイナー、須藤玲子による色とりどりのこいのぼり約300匹が泳ぎます。
フランスの空間デザイナー、アドリアン・ガルデルと、ライゾマティクスの齋藤精一との
コラボレーションで実現した大規模なインスタレーション。

・開催期間：開催中～5/28(月)

・開催時間：10:00～18:00（最終入場は17:30）

※毎週金・土曜日、4/28(土)～5/6(日)は20:00まで開館延長

※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は22:00まで開館

・休館日：毎週火曜日 ※ただし、5/1(火)は開館

・場 所：国立新美術館 企画展示室2E

・観覧料：無料



須藤玲子+アドリアン・ガルデル 《こいのぼり》 2014年 フランス国立ギメ東洋美術館
展示風景

● softpad

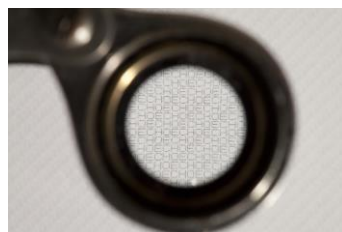
《「こいのぼりなう！」展関連スペシャル・プログラム》

日本を代表するテキスタイル・デザイナーの須藤玲子が、フランス人展示デザイナーのアドリアン・ガルデルと協働して作り上げた大規模インスタレーション。そのダイナミックな展示には、ライゾマティクスの齋藤精一が演出を加え、softpadがサウンドを提供しています。softpadがライブパフォーマンスを行う、この日だけのスペシャルな空間を堪能してください。

・日 時：5/26(土)16:00～16:30、18:00～18:30

・場 所：国立新美術館 企画展示室2E

・観覧料：無料



ECHO | white 2011年

● 《建築ツアー2018：歩く・見る・知る美術館》

「六本木アートナイト2018」特別プログラムとして、国立新美術館の建物内を巡りながら、建築の特徴や美術館の活動について紹介するツアーを開催します。黒川紀章・日本設計共同体が設計した美術館のダイナミックな空間を日本設計社員による解説とともに、お楽しみください。

・日 時：5/26(土) 16:00～17:30、19:30～21:00

・場 所：国立新美術館 館内各所

・参加料：無料（事前申し込み制）

・協 力：株式会社 日本設計



● 《TOKYO_ANIMA! 2018》

日本の短編アニメーションの「ショーケース」。若手アニメーション作家の新作・近作など15作品程度を一挙上映します。この機会をお見逃しなく！

・日 時：5/26(土)、5/27(日) ※開催時間は、TOKYO_ANIMA!のウェブサイト

(<http://www.tokyo-anima.com/>) で発表いたします。

・場 所：国立新美術館 3階 講堂

・参加料：無料

● 公募展 《第114回 太平洋展》

作品ジャンル：洋画・版画・彫刻・染織、主催：一般社団法人太平洋美術会

・開催期間：5/16(水)～5/28(月)

・開催時間：10:00～18:00（最終入場は17:30）※最終日は15:00閉会

※5/18(金)・25(金)は20:00まで開館

・場 所：国立新美術館 展示室1A-1D

・観覧料：一般・大学生 700円、高校生以下無料 ※金曜日は17時以降無料

● 公募展 《第40回 日本新工芸展》

作品ジャンル：工芸、主催：公益社団法人日本新工芸家連盟

- ・開催期間：5/16(水)～5/27(日)
- ・開催時間：10:00～18:00（最終入場は17:30）
- ・場 所：国立新美術館 展示室3A、3B
- ・観覧料：一般 700円、大学生・高校生・65歳以上 400円、中学生以下無料
※「六本木アートナイト2018」開催に伴い、5/26(土) は無料

● 公募展 《70回 三軌展》

作品ジャンル：絵画・彫刻・工芸・写真、主催：三軌会

- ・開催期間：5/16(水)～5/28(月)
- ・開催時間：10:00～18:00（最終入場は閉館30分前）※最終日は15:00閉会
※5/18(金)・25(金)は20:00まで開館
※「六本木アートナイト2018」開催に伴い、5/26(土)は22:00まで開館
- ・場 所：国立新美術館 展示室2A-2D
- ・観覧料：一般 700円、大学生以下無料 ※金曜日は17時以降無料
※「六本木アートナイト2018」開催に伴い、5/26(土)は三軌会チラシの提示で無料
※「六本木アートナイト2018」開催に伴い、5/26(土)は18:00以降無料

● 尺八 竹禅 観洞、三味線 加藤 梅清山、高橋 惇

《尺八、三味線が唄う日本の心 ―ふるさとの思いを音色に託して―》

古典尺八と津軽三味線は、日本人の心そのものです。思いやりや辛いことや喜びが、ふるさとの敬意の気持ちとともに癒やしの旋律となって心に響きます。その音色は懐かしくもあり、温かくもあり、悲しくもあります。そんな日本人の思いを尺八と三味線で奏でます。奏者の竹禅観洞は40年以上にわたってその音色を極めてきました。アメリカでのライブも行いましたが、どの会場でも観客の心を大いに揺さぶり、「生かされている今このときが、いつも私の舞台です」と芸に励んで積み上げた和の心は大きな反響を呼んでいます。

- ・日 時：5/26(土) 18:30～20:00
- ・場 所：国立新美術館 展示室2A（70回 三軌展 展示室内）
- ・観覧料：無料

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | サントリー美術館 プログラム

六本木アートナイトの機会に、ガラス工芸の粋に触れてみたいと感じている方にはサントリー美術館がおすすめです。5/26(土)に限り、アートナイト割引で入館料が一律500円に。

● 《ガレも愛した―清朝皇帝のガラス》

中国でガラス工芸が飛躍的に発展したのは、清王朝の時代です。ガラスといえば「透明性」と「はかなさ」が最大の魅力ですが、清朝のガラスは趣が異なり、「透明」と「不透明」の狭間で、重厚で卓越した彫琢が際立っています。その類まれなる美しさは、フランス・アール・ヌーヴォー期を代表する芸術家エミール・ガレをも魅了しました。本展では、清朝皇帝のガラスの美をガレの作品とも比較しながら有数のコレクションをご紹介します。英国ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館から来日する作品群とともに楽しみください。

- ・開催期間：4/25(水)～7/1(日)
- ・開館時間：10:00～18:00
※金・土および4/29(日・祝)、5/2(水)、5/3(木・祝)は20:00まで開館
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は24:00まで開館延長
※いずれも入館は閉館の30分前まで
- ・会 場：サントリー美術館
- ・入館料：5/26(土)「六本木アートナイト 2018」割引で一律500円
5/27(日) 一般 ¥1,300、大学・高校生 ¥1,000 ※中学生以下無料

期間中の展覧会



青地赤茶被魚蓮文瓶 乾隆年製銘 清時代・乾隆年間
(1736-95) 中国
ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館
©Victoria and Albert Museum, London

● 《フレンドリートーク》

サントリー美術館エデュケーターによる、大人から子どもまで楽しめるスライドを使った展示解説。「ガレも愛した―清朝皇帝のガラス」展の見どころを紹介します。

- ・日 時：5/27(日) 11:00～11:20、13:00～13:20、15:00～15:20 ※各回先着80名
- ・場 所：サントリー美術館 6階ホール
- ・参加料：無料（要美術館入館料）



● 曾谷 朝絵

みずのみち

《MIZUNOMICHI》

ホールの大きな窓に色鮮やかなフィルムを貼って、一緒にインスタレーション作品をつくりませんか？ガラスを使った光と色が織り成す幻想的な世界をお楽しみください。完成した作品は5/27(日) 18時まで展示します。

- ・日 時：5/26(土) 18:00～23:00 ※混雑時は入場を制限する場合があります。
- ・場 所：サントリー美術館 6階ホール
- ・参加料：無料（要美術館入館料）



《鳴る色》2017年／撮影：株式会社 中川ケミカル

● 林家 花、宮田 章司、KYOKO

《和の演芸ひろば》

寄席などでおなじみの演芸の中から、観客のお題にあわせて即興で紙を切っていく「紙切り」、江戸の風情を今に伝える売り声漫談「江戸売り声」、日本古来の伝統的マジック「和妻（わづま）」のパフォーマンスが次々と繰り広げられます。楽しい掛け合いもお楽しみ！それぞれ約20分の公演です。

- ・日 時：5/26(土) 18:30～19:30、20:00～21:00、
21:30～22:30（約20分×3公演）
※混雑時は入場を制限する場合があります。
- ・場 所：サントリー美術館 1階レクチャールーム
- ・参加料：無料



林家 花



宮田 章司

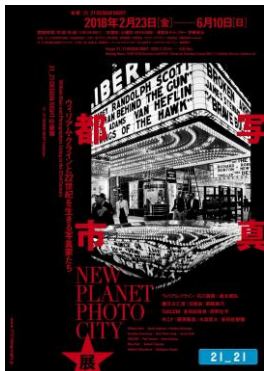


KYOKO

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 21_21 DESIGN SIGHT プログラム

21_21 DESIGN SIGHTでは、20世紀を代表する写真家ウィリアム・クラインと日本とアジアの写真家たちを紹介する企画展を開催中です。展覧会ディレクターは、数々の著書や展覧会の企画で知られる写真評論家で美術史家の伊藤俊治が務めます。5/26(土)はアートナイト開催に伴い、23:30まで開館延長します。

期間中の展覧会



● 《21_21 DESIGN SIGHT企画展「写真都市展 -ウィリアム・クラインと22世紀を生きる写真家たち-」》

20世紀を代表する写真家ウィリアム・クラインの都市ヴィジョンをマルチ・プロジェクションで表現するほか、斬新な眼差しで21世紀の都市と人間を見つめ、従来の写真のフレームを大きく飛び越えようとする日本やアジアの写真家たちを紹介します。

22世紀をも見据えた未来の写真都市の鼓動を描きだす、ヴィジュアル・コミュニケーションの新しい冒険をご覧ください。

- ・開催期間：開催中～6/10(日)
- ・開催時間：10:00～19:00（最終入場は18:30まで）
※「六本木アートナイト 2018」開催に伴い、5/26(土)は23:30まで開館延長（最終入場は23:00まで）
- ・休館日：火曜日 ※ただし、5/1(火)は開館
- ・入館料：一般 1,100円、大学生 800円、高校生 500円、中学生以下無料

● 榎木 野衣、伊藤 俊治／トーク「現代美術と現代写真」

従来の写真のフレームを大きく飛び越えようとする写真家を紹介する企画展「写真都市展」。本トークでは、美術評論家の榎木野衣と、本展ディレクターで写真評論家の伊藤俊治が、本展と、参加作家たちの表現を通して、現代美術と現代写真について語り合います。

- ・日 時：5/26(土) 17:00～18:30
- ・場 所：21_21 DESIGN SIGHT
- ・参加料：無料（要入館料）



企画展「写真都市展 -ウィリアム・クラインと22世紀を生きる写真家たち-」会場風景（撮影：吉村昌也）

「六本木アートナイト 2018」各館プログラム | 六本木商店街 プログラム

昨年も好評だった記念撮影を行うフォトスポットを設置。
六本木アートナイトに参加した思い出に、六本木の街の中心で撮影してみませんか。

● Roppongi Art Night Photo Spot

六本木の街の中心「六本木交差点」に「六本木アートナイト2018」に参加した人たちが記念撮影を行う素敵なフォトスポットが登場します。

- ・日 時 : 5/26(土) 10:00~5/27(日) 18:00
- ・場 所 : ラピロス六本木
- ・参加料 : 無料



昨年の様子

六本木アートナイト 2018 開催概要

- 正式名称 : 六本木アートナイト 2018
- 開催趣旨 : 「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に開催する、一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木を舞台に、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を街なかに点在させ、非日常的な一夜限りの体験をつくり出す本イベントは、東京を代表するアートの祭典として2009年3月にスタートし、年々発展を続けております。
- 日 時 : 2018(平成30)年5月26日(土) 10:00 ~ 5月27日(日) 18:00
<コアタイム> 26日(土) 18:00 ~ 27日(日) 6:00
※コアタイムとは、メインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。
- 開催場所 : 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
- 入場料 : 無料(ただし、一部のプログラム及び美術館企画展は有料)
- お問い合わせ : 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
- 主 催 : 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会
【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】
公式サイト : <http://www.roppongiartnight.com/>
Facebook : <https://www.facebook.com/RoppongiArtNight/>
Twitter : https://twitter.com/r_artnight
Instagram : https://www.instagram.com/roppongi_art_night_official/
※ハッシュタグ : #roppongiartnight2018 、 #ran2018

※全てのプログラムは天候等諸事情により変更または中止となる場合がございますので、予めご了承ください。

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (PR01.内) 担当 : 三上・小谷
TEL : 03-5774-1420 FAX : 03-5774-1409
Mail : ran2018@one-o.com